

安全表示で 人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第16回

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 スマートエネルギーシステム事業部(奈良地区)

会社概要

●奈良地区所在地: 奈良県大和郡山市筒井町 ●設立: 1990年 ●従業員数: 560
名(派遣・請負含む) ●主な事業内容: ガスメーター用デバイスの生産・開発・販売など

口頭で何度も注意するより ひと目で分かる安全表示が重要

パナソニック(株)エレクトリックワークス社スマートエネルギーシステム事業部は、我々の身近にあるガスメーターに搭載されるデバイスの開発から販売までを主に行っています。従来の膜式と呼ばれる、膜式弁でガスの流量を測るものから、最近普及が拡大している超音波で測るタイプの新しいメーターに至るまで、その内部に搭載されるデバイスはほぼ同事業部から供給されているといいます。

そんな同事業部の奈良地区では「安全は全てに優先、あなたの人生と家族の幸せの為に」を理念に掲げ、多彩な安全衛生活動を推進しています。中でも、安全表示による「危険の見える化」には力を注いできました。そこで、同事業所工場長の高橋利和さんと、安全衛生担当の豊嶋伸司さん、見市幸司さん、実際にビーポップで安全表示を作成されている脇田稔子さんにお話を伺いました。

不注意による行動災害を防ぐため安全表示が不可欠

同事業部では健康安全衛生への取り組みとして、OHSMSの推進、設備の本質安全化、教育・人材育成の啓発活動、健康維持増進活動などを行っています。なかでも、安全表示による「危険の見える化」は、設備的な災害にどのようなものがあるのか、作業上の注意事項などを徹底するための施策として力を入れているそうです。

「不注意からくる行動災害が起きないよう、『ポケットに手を入れて歩かない』

い」「携帯電話を使用したまま歩かない」などの表示を要所に掲示しています。コンテストへの応募作も、台車を使う時の作業ルールを徹底するために、工場にある全ての台車に付けたものです」と見市さん。台車に限らず、どんな小さな災害でも起きたことに対して見える化を行い、事業部内で再発防止の横展開をしているといいます。

「以前は文字だけで安全表示を行っていましたが、ビーポップならいろんな形が作れる、切り抜きができる、イラストや写真も入れられるということで導入しました」と、豊嶋さんは振り返ります。

「安全表示は大きなものばかりでなく、例えば有機溶剤を入れた小さな容器に貼るGHSラベルも作ります。シンボルマークを入れて小さくてもインパクトのあるラベルが簡単に作れるので重宝しています」と脇田さん。みなさんで考案した安全表示を主に脇田さんが作成するという役割分担になっているそうです。

見る人がひと目で分かる やさしい安全表示を目指す

同事業部では多くの請負業者さんとも働いていますが、安全衛生活動の対象としては、社員も請負の方も含めた作業者全員に徹底することになっているそうです。

「請負の方たちは人員が入れ替わることが多いので、それを前提にルールを共有していく必要があります。口頭での注意や説明だけでは伝える側のスキルによっても伝

通行区分の明確化(歩行者/作業用)



床面の安全表示で、歩行者と台車の通行区分を明確化した。

受賞作

第1回 安全表示・人づくりコンテスト
優秀賞受賞作。

わり方に差が出て来ます。その点、安全表示ならば、『この表示に気をつける』ということを指導していけば良いので、ラストな取り組みだと考えています」と高橋さんはその重要性を強調しています。

また、安全表示に関する今後の取り組みについて見市さんは、「新しい作業者が見たときに迷ったり間違ったりしないように、文字だけでなく写真やイラストを入れたり、配色を統一するなどして、すぐに『このやり方が正しい』ことが分かるような『やさしい表示』をしていくことが、最終的には無事故無災害につながるのだと思います」と、力強く展望を語ってくださいました。



左から高橋さん、豊嶋さん、見市さん、脇田さん

※撮影のために十分な感染症対策を行った上で
一時的にマスクを外していただきました

※1 OHSMS: 労働安全衛生マネジメントシステム

※2 GHS: (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals) 化学品の危険有害性(ハザード)ごとに、分類基準及びラベルや安全データシートの内容を調和させた世界的な統一ルール。

お問い合わせ

マックス株式会社

オフィスプロダクツ営業部

安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp